

授業科目	認知・コミュニケーション障害支援学特論演習				
担当者	松井理直・山口忍・井口知也				(オムニバス)
実務経験者の概要					
学科名	保健医療学研究科	学 年	2年	総単位数	8単位
		開講時期	通年	選択・必修	選択

■ 内 容

認知・コミュニケーション障害を対象とする学生の社会へ還元する知識・技術に照らして、認知・コミュニケーション障害支援学特論で修得した知識を実践可能な高度専門知識・技能へと昇華させる。生活機能支援を実施する能力を培うため、前提となる基礎領域の知識を活用して、課題解決の方法論を文献検索やカンファレンスを通じて学修し、実践を通じて演習する。即ち、聴覚の機能が認知機能言語機能・コミュニケーションに及ぼす影響を及ぼすかを学び、それを補う機器の性能や効果、限界を知ることにより、より適切で高度な生活支援技術を実践的に学べ、経験則ではない科学的なアプローチにつながる。よって、これらを実践的に学ぶことにより、対象者に科学的根拠のあるコミュニケーション支援技術を提供する能力を培うと共に、内外の主要文献や資料を裏付けとした臨床的推論が可能となる。

研究協力施設において、実際の聴覚障害例の評価、リハビリテーション、検証を実施し、障害機序と介入を関連づけ、発達・再学習過程を論理的に考察し、聴覚障害が生活にもたらす影響と支援方法を文献を通して情報収集し考察する能力を育成する。カンファレンスを通して、問題点を具体的に解決する能力を涵養する。

なお、内容は受講生の関心に応じ、随時調整を行う。

■ 到達目標

- ・臨床活動における課題について文献を通して情報収集し検証点を明らかにすることができる。
 - ・研究協力施設での臨床において、障害機序と介入を関連づけ、変化を論理的に考察できる。
 - ・認知機能の障害が生活にもたらす影響と支援方法を文献を通して考察することができる。
- なお、以下の内容は聴覚障害に関する例であり、受講生の関心に応じ、随時変更を行う。

■ 授業計画

- 第1回 認知機能に関する障害の評価と、分析の方法
- 第2回 認知機能に関する障害例の症状と検査所見
- 第3回 認知機能に関する障害の障害機序の検討
- 第4回 障害機序に即したハビリ・リハビリテーションの考え方
- 第5回 発達や再学習過程から、ハビリ・リハビリを検証する
- 第6回 症例1（研究協力施設の臨床例、以下同様）の状態・検査とその結果
- 第7回 症例1の臨床像から、ハビリ・リハビリの課題を抽出する
- 第8回 症例1の臨床像から、ハビリ・リハビリの課題に即したアプローチを考える
- 第9回 症例1の臨床像に類似する例の長期的経過について、先行研究を検索し考察する
- 第10回 症例1の臨床像とそのハビリ・リハビリテーションを立案し、検証方法を検討する
- 第11回 症例1の臨床像が日常生活にもたらす影響と支援法を文献を通して考察する
- 第12回 症例1の検査・評価・ハビリ・リハビリについて、科学的根拠をもって説明する
- 第13回 症例2の状態・検査とその結果
- 第14回 症例2の臨床像から、ハビリ・リハビリの課題を抽出する
- 第15回 症例2の臨床像から、ハビリ・リハビリの課題に即したアプローチを考える
- 第16回 症例2の臨床像に類似する例の長期経過について、先行研究を検索し考察する
- 第17回 症例2の臨床像からハビリ・リハビリテーションを立案し、検証方法を検討する
- 第18回 症例2の臨床像が日常生活にもたらす影響と支援法を文献を通して考察する

- 第19回 症例2の検査・評価・ハビリ・リハビリについて、科学的根拠をもって説明する
- 第20回 症例3の状態・検査とその結果
- 第21回 症例3の臨床像から、ハビリ・リハビリの課題を抽出する
- 第22回 症例3の臨床像から、ハビリ・リハビリの課題に即したアプローチを考える
- 第23回 症例3の臨床像に類似する例の長期経過について、先行研究を検索し考察する
- 第24回 症例3の臨床像からハビリ・リハビリテーションを立案し、検証方法を検討する
- 第25回 症例3の臨床像が日常生活にもたらす影響と支援法を文献を通して考察する
- 第26回 症例3の検査・評価・リハビリについて、科学的根拠をもって説明する
- 第27回 研究協力施設にて、実際の症例の検査と評価を行う
- 第28回 研究協力施設にて、実際の症例の検査と評価を行う
- 第29回 研究協力施設にて、実際の症例の検査と評価を行う
- 第30回 症例の総合的考察

■ 評価方法

症例 I, 2, 3の説明と、最終プレゼンで評価する

■ 授業時間外の学習（予習・復習等）について

各症例に関するレポート作成

■ 教科書

書名：授業中に指定する

■ 参考図書

書名：授業中に指定する

■ 留意事項

■ 講義受講にあたって